

1 基本方針について

方針1 サービスの向上

- ①開所時間の延長（延長料金制）
- ②活動内容の充実
- ③支援員の専門性の向上（研修の充実）

方針2 効率的な事業運営

- ①民間事業者の効率的な事業運営（行政のスリム化）
- ②国の補助金の活用（一般財源（市の支出）の削減）

2 仕様書について

ポイント1 支援員の 雇用継続

努力義務を付し、雇用計画書にて支援員の確保を確認
【必要性】
利用児童や保護者の安心感、雇用の確保

ポイント2 事業者の 評価基準

価格ではなく、質の向上に寄与する企画内容を評価
【事由】
事業費の約80%が人件費で、人件費の削減が目的ではない

3 エリアの分割について

(1) エリア分割による違い

エリア分割	応募事業者	エリア間の競争	提供サービス	運営コスト	支援員のサポート体制
一括	△ 少ない	× なし	○ 一律	○ 効率的	○ シフトを補い易い
2分割	△ 少ない	○ あり	△ 差が生じる	△ 一括より割高	△ 難航する場合あり
4分割	△ 少ない	○ あり	△ 差が大きい	× スケールメリットなし	△ 難航
10分割	○ 多い	△ 比較が困難	× エリアの独自性	× 事業費拡大	× 困難

◆市場性アンケート調査個別サウンディング(※)の結果
分割を希望する事業者の想定エリア → 小規模（10分割が必要）

※事業内容や事業スキーム等に関し、直接対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行い、事業の検討を進展させるための情報収集

(2) エリア一括のメリット・デメリット

	①一律の運営内容 ⇒ 同一サービスの提供	一番評価の高い事業内容を地域差なく実施
メリット	②運営コスト削減 ⇒ スケールメリット	事務局経費（人件費、営業所管理費）の運営コストを削減
	③支援員のサポート体制 ⇒ 閉所リスクの回避	クラブ数が多いほど、支援員の病気やケガなど不測の事態に他のクラブから応援が可能
デメリット	①エリア間の競争	事業者間の競争は働かないが、保護者アンケート等による事業評価で実効性の評価を検討

◆応募事業者は少なくなるが、一括のメリットが大きく、実績ある事業者同士の競争が期待できる。（市場性アンケートで、複数の事業者は一括請負可）

サービスの向上
(メリット①)



効率的な事業運営
(メリット②、③)



エリア分割なし

4 スケジュール(案)について

年度	2022年度		2033年度				2024年度	2025年度	2026年度
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4月~3月	4月~3月	4月~3月
議会	選定審議会 予算上程	選定審議会、 債務負担予算 条例改正上程		指定管理 指定議決				債務負担 予算上程	指定管理 指定議決
事業者選定		選定審議会（4回）		仕様書 協議	協定 締結	移行準備期間	事業評価	審議会	準備 期間
運営	直 営						指定管理【3年】		

議会対応

- ◆R4.12(R4年度補正)
【予算】
・選定審議会(2022年度分)
- ◆R5.3(R5年度当初)
【予算】
・選定審議会(2023年度分)
・債務負担行為(3年間の事業費)
【条例】
・児童クラブ条例の一部改正
(開所時間延長、延長使用料)